

天空に輝く金環! 君は見たか!!

5/21 王子桜中金環日食観測隊、大成功!!

隊長撮影!



五月二十一日(月)、世紀の天体ショー、金環日食を観測しました。前日までは、雲がかかり見られるかどうかという天気予報でしたが、朝から青空、先生方は、朝六時半から準備、もうその頃から生徒たちもちらほら登校してきました。



この日に向けて「王子桜中金環日食観測隊」の隊員募集という事で参加申込みを募りました。事前に調査したのは、どのくらいの日食観察グラスを準備すればいいかを知るためで(申込数二百七十名)、当日は自由参加にして、約三百名ほどの、生徒、保護者の方々、小学生が集まりました。学校で百個の観察グラスを用意し、運動会振替休日の王子小から百個の太陽観察用偏光板を借りて二百個用意しました。足りなくなるほどで、お互いに貸したりして、楽しく観察しました。

七時二十分位から周りが少しずつ夕方ようになり、気温も下がってきました。観測を始めた頃は雲一つない空だったのに、次第に雲が出てきて金環日食が始まるころ、太陽の前を雲が流れて覆ったりしていました。三十一分、金環日食が始まりました。みんな一斉に観察、雲が遮ったりしましたが、三十七分までの五分間、「見え



たあー!」「きれい!」「ほんとにリングだあー」と歓声が上がりました。

東京では百七十三年ぶりの金環日食、今後、東京で見られるのは三百年後という壮大な宇宙のドラマでした。(日本では十八年後に北海道の一部で見られるそうです。)

ひととき、宇宙の神秘を、この目で見、肌で感じる事ができた貴重な体験でした。太陽がかげると寒く感じたという事は、いかに地球が、地球上の全ての生き物が、人間も含めて太陽のエネルギーによって生かされているかを知ることができました。大切な太陽、そして地球、限られた資源の中で生きていく人間は、この大切な地球を優しく守っていかねければなりません。

この日、金環日食を見たこどもたちは、壮大な宇宙のドラマを体験し、一生の宝物のような思い出として残るでしょう。

校長 富張雄彦

金環日食 俳句と短歌

一年生が俳句&短歌を創作しました。

俳句

- 金環食 空からみんなへ 贈り物
- まあきれいな 太陽と月 出会ったら
- 金環食 重なる円に 感動さ
- 金環食 地球の神秘 きれいだな
- すごいなあ 金環日食 つながった
- 感動だ 金環日食 見た瞬間

短歌

- きれいだな 金環日食 忘れない ぼくの一生宝物だよ
- 目を閉じて 空を仰げば さわやかな 心に残る 光のリング
- 太陽と月の「ラブ」は きれいだな 金環日食 最高だ
- きれいだな 月と太陽重なって みんながいっぱい 笑顔になった
- 金環食 みんなの心に 焼きつる 空に感動の 金のリング
- 金環食 みんなが見てる みんなの輪 貴重な時間 みのがささいで
- きれいだな 金環日食 夢のよう 二つの星が 生み出す神秘

